

# 高校生が地元の企業と協力して人口減少のスピードを抑えることはできるのだろうか

1205A班

## 1. 序論

- ・気仙沼市の人口減少が著しい
- ⇒気仙沼市内で行っている空き家バンクなどの活動の話題性の低さが原因では

## 2. 仮説

自分達高校生が地元の企業と一緒に活動することでメディアに取り上げてもらい、人の減少の原因と考察していた話題性を生み出すことが出来る。

## 3. 本論

### ①気仙沼の人口事情

グラフから気仙沼市の人口は減少傾向にある。



### 考察

- ・市に人を呼び込むことや、市をアピールする活動が他地域に認知されていない
- ・若者が就きたくなる理想の仕事がない
- ・子育て世代への施設不足

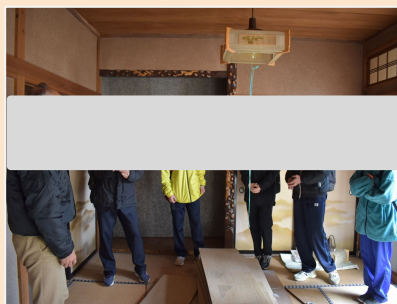
これらの中で他地域に活動が認知されていないということに着目して活動することにしました。

## 注 空き家バンクとは..

湊さんと気仙沼市が行っている活動の一つで空き家を「売りたい・貸したい」人と「買いたい・借りたい」人をマッチングさせる制度。

## 4. 結論

高校生と地元の企業が協力することでメディアに自分達の活動を取り上げてもらえたが直接的に人口減の抑制にはつながらなかった。  
間接的ににではなく直接的に市で行っている活動を伝えられるようなイベントなどを計画していきたい。



※実際に三陸新報に掲載された写真です。

### ②フィールドワーク

地元の企業と協力するために、空き家バンクに行っている移住センター湊さんの活動に参加し、下記のことを行った。

#### 1. 空き家の見学

建物の特徴や間取り、住宅周辺の状況の説明を受けながら空き家の活用方法を考えた。

#### 2. 情報整理

見学した空き家についてメリット・デメリットを付箋紙に書き模造紙に区分分けし、空き家やその周辺の土地をどう活用していくか考えた。

例・坂が急＋駅から近い⇒学生の合宿所

・日当たりが悪い⇒ベランダを作る

＋

湧水の近くにある

⇒高齢者が第二の人生を過ごす家

## 参考文献

本論①図

<https://jp.gdfreak.com/public/detail/ip01005000001004205/1>

グラフで見る！気仙沼市の人口と世帯 人口推移